

# 建築家 通信

2018.1.31  
vol.116

公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部 長野地域会  
JIA長野県クラブ

<http://www.jia-nagano.com>  
E-mail [info@jia-nagano.com](mailto:info@jia-nagano.com)

建築の魅力を伝える楽しさ

デザイン・コミュニケーター代表 飯田 彩



小川重雄氏建築写真講座より 撮影:小川重雄



「信州の建築家とつくる家 vol.13」より 撮影:山内紀人



小川先生を囲んで懇親会

パソコンやスマホでもさまざまな建築の情報に触れることができる今日ですが、やはり、頁を繰って美しい写真にはとどまる体験は、デジタルデバイスにはない本ならではの醍醐味です。

一昨年から昨年にかけて、JIA長野県クラブの作品集『信州の建築家とつくる家 13』を編集する機会をいただきました。私は東京を拠点に建築・デザイン関連の編集の仕事をしていますが、木や地場の石材をふんだんに使ったインテリア、薪ストーブを備えた豊かな土間空間、深い軒をもった伸びやかな平屋、地域の伝統建築のリノベーションなど、信州ならではの大らかな住宅の数々に都市型住宅とは違った魅力を感じました。また、南向きの家ならぬ山向きの家にこだわるという、信州の方の「美しい山を見ながら暮らす」ことへの情熱に驚いたり、新鮮な発見もありました。

そのような発見から、巻頭特集のテーマを「窓辺から考える」としました。写真はすべて建築写真家の山内紀人さんの撮り下ろしですが、あえて情報量を削ぎ落とし、ぐっと開口部よった構図にすることで、まるでその窓辺の空間に立ったような臨場感を狙っています。完成した誌面では、信州ならではの美しい景色を楽しむ住まいの魅力をより鮮明に伝えることができたのではないかと思います。

建築雑誌や作品集を編集する際に、誌面を見た設計者本人から「こんな見え方や切り口があるなんて気づかなかった」と言われることがあります。これは奇をてらった編集

をするという意味ではなく、建築家も気づいていなかった建築の魅力、視点を引き出して読者に伝えることが、建築写真、編集にはできるということです。効果的に魅力を伝える切り口を見つけ、ストーリーを紡ぐことが編集のおもしろさでもあります。

昨年12月には、建築写真の奥深さ・魅力をより知って頂くために、建築写真家の小川重雄さんによる講演「建築写真への誘い～光による空間表現～」が行われました。そのなかで、「建築写真は実際の空間を忠実に再現するものではなく、3次元の建築空間をいかに2次元で表現するか」というものだという言葉がありました。つまり、あるがままを撮るわけではなく、「こう見せたい」という明確な写真家の意図のもとに生まれる表現だということです。小川さんが撮られる写真の際立った美しさは言わずもがなですが、立体感を生み出す一瞬の光の選択、奥行き感のある絵画のような構図、さらには合成による表現など、人の心をつかむ1枚の写真が生み出されるまでには、緻密な計算や労力を厭わない仕事が必要なのだを再確認した濃密なレクチャーでした。

春の訪れまで、もう少し寒い日々が続きそうです。暖かい部屋で本を開き、あらためて建築の2次元表現を楽しんでみてください。



10月21・22日、宮城地域会からお誘いを頂き、「東日本大震災の被災地及び宮城地域会の復興支援の取り組みについての視察交流会」に茨城県・栃木県・新潟県地域会と共に長野県クラブから山口代表以下9名が参加しました。

被災集落の高台への集団移転においては、住民合意も程々に行政と土木コンサルタントが計画を押し進める事例が多いようです。しかし石巻市北上町の「にっこり団地」では最初から移転計画に加わり、住民の方々の意見を細かく吸い上げ合意形成をしながら進めて、満足度の高い住環境ができた事例であり、実体験からの重みのある話を伺いながら見学しました。そのあと、児童74人・教職員10人が死亡・行方不明となった大川小学校被災跡を弔問しました。校庭脇の裏山を見ると様々な事情があったと思いますが、私でさえ無念さを感じてしまいます。



北上町 にっこり団地 撮影：丸山幸弘

女川町の坂茂氏設計の駅舎と温泉温浴施設「ゆぼっぼ」、東理恵氏設計の商業施設「シーバルピア女川」を見学して仙台市内に戻り、夜の懇親会で他県の地域会の方々と親交を深めました。

二日目は山元町の地域交流兼防災センターを見学の後、防潮堤の上まで歩きましたが、人の気配のない荒涼とした風景に、これしか対応方法がないのだろうかという無力感で呆然としてしまいました。



山元町 防潮堤 撮影：丸山幸弘

伊東豊雄氏設計の「岩沼みんなの家」で人の活気の温かみをかみしめ、「ゆりあげ港朝市」では設計された針生氏の奥様から「いかに復興に携わって、それがいかに難しいのか」お話を伺いながら昼食を取り、多賀城市と七ヶ浜町の災害公営住宅を見学して帰路に着きました。季節外れの台風21号接近による雨模様で人通りも少なく寂しさも感じましたが、視察場所でお話しをした地元の方々は、しっかりと前を向いていらっしゃる印象を受けました。出来れば今回の経験を活かすような場に遭遇はしたくないのですが、長野県は急峻な山谷と断層も数多くありどこでも大きな災害に遭う可能性があります。その時は少しでも役に立てるように準備をしておくとは強く思いました。

今回の視察体験は強行日程でしたが、道中、車の運転をされた方々の頑張りのおかげで、貴重でとてもよい機会を頂きました。

## 2017年度 冬のセミナー

川上 恵一

2017年の師走の3日(日)恒例になった建築見学と忘年会を兼ねたセミナーに参加した。たまには温泉に浸かってという事で宿は片倉の諏訪湖ホテルである。昼間は近くにある信州が生んだ建築家、柳澤孝彦や藤森照信の作品群を見学する。



神長官守谷資料館前

その日諏訪地方は寒かったが晴天に恵まれ、澄んだ青空には八ヶ岳をはじめとした山並みが諏訪湖をぐるっと取り囲んでいた。諏訪といえばなんとといっても諏訪大社である。集まった仲間は30人程。まずは上社にお詣りをして東の参道(嘗ての鎌倉街道)から歩いて藤森ワールドに向かう。

途中仕事柄かこの辺りの民家が気になる。この地方独特の土蔵と建てるみの屋敷がまだ残っている。釈迦に説法で仲間に民家の造りの解説をする。

ブラブラ歩くこと10分、藤森先生の実家と一連の話題作が目飛び込んでくる。この日は超多忙ゆえご当主不在で、近所の親戚の方や工務店さんが鍵を開けてくれたり案内をしてくれた。まずは高過庵と低過庵、空飛ぶ泥舟、それから神長官守矢史料館、最後に自宅の玄閣

「玄庵」と作業場である。

なんと揺れる高過庵に内緒で5人ずつ交代で全員登る事が出来たのである！。神長官では不思議な懐かしい空間の中で、館長の楽しい説明に耳を傾けた。予定の2時間は足りなかった様だが仲間の笑い声はあちらこちらで聞こえた。



低過庵より高過庵を見る

帰りがけ上社の入り口にある金子茶房に立ち寄り、夕暮れの八ヶ岳を正面に一服のお茶を頂いた。建築空間の豊かさや造る難しさを感じた。

その後諏訪湖ホテルにチェックインして早速片倉館の千人風呂に飛び込んだ。諏訪湖ホテルも片倉館も森山松之助設計である。洋館も和館もお洒落で凛々しい。ボクの部屋は天皇も泊まった『菊の間』、奥に続き間の洋館のサロンがある。こんな造りはなかなかマネはできない。

夜は宴会で 腹ごしらえと酒が入り賑やかな時間が流れた。二次会は20人程がサロンに集まり事務局の佐藤さんが用意してくれた酒肴を駄弁りながら平らげて、気がついたら次の日になっていた。

JIA長野県クラブの仲間は頼もしく楽しい。

### “信州の木”建築賞

最優秀賞 海野宿滞在型交流施設うんのわ

児野登／(株)アーキティアック  
共同設計 土本俊和／信州大学学術研究院工学系教授

優秀賞 かんてんばばショップ小布施店

宮本仁夫／(株)宮本忠長建築設計事務所  
大雪渓酒造「花紋大雪渓」 川上恵一／(有)かわかみ建築設計室

### 第29回松本市景観賞

部門賞 「才能教育会館」

児野登／(株)アーキティアック

奨励賞 「特別養護老人ホーム」

小宮山吉登／(株)倉橋建築計画事務所

「通り再生の第一歩」

轟真也／源池設計室

### 新入会員紹介

協働会会員 株式会社 シンケン 白勢 佳久さん (松本市)

### 編集後記

昨年末の建築写真講座後の懇親会の事です。皆さんが小川先生を山盛りに囲んで、持ち寄ったお酒もほったらかして、学生さんのように熱心にお話を聞いていたのが印象的でした。冬のセミナーで、藤森建築に登った？ 時も皆さん子どものように楽しそうでした。おじさんばかりなんですけど。素敵だなと思いました。

今号の表原稿には編集者の飯田さんに寄稿して頂きました。建築雑誌を作る側の考え方や面白さが書かれてあって、興味深いです。…………… 百瀬万里子

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。



編集人／百瀬 万里子 発行人／山口 康憲  
発行所／JIA長野県クラブ  
長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内  
TEL : 026-232-3897 FAX : 026-232-5303  
<http://www.jia-nagano.com>  
E-mail [info@jia-nagano.com](mailto:info@jia-nagano.com)

開催したイベント  
11月11日(土)… 地域材フィールドワーク in 諏訪  
11月18日(土)… 続・信州「準寒冷地温熱教室 2017」(第4回)  
12月3日(日)… 冬のセミナー  
12月15日(金)… 建築写真講座

今後の行事予定  
2月17日(土)・18日(日)… 第12回建築祭